

変革の時代の経営を考える

第17回目となる『実学サロン』の案内を致します。講師は毎回校友です。社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験や研究活動の経験を聞くことは、楽しく有意義なことです。魅力的な研究開発活動、エンジニアリングやマネジメントは、その道で体得された方に聞くのが一番です。

今回の実学サロンは研削・研磨加工技術の第一人者で、この分野の研究リーダーの一人で著書に『球体のおはなし』があります。球体の加工技術と理論の第一人者で新たな研磨手段、装置を開発し、自動加工で真円度0.04ミクロンを達成しています。過日には、NHKの『凄ワザ』に招かれ、解説を担当しています。日本のものづくりの技術力をどこまで高めることができるのか「究極の“真球”を目指せ」とのテーマで不可能を可能にする「凄ワザ」を柴田順二元教授から実学サロンで直接にお聞きしたく、企画いたしました。

講演会終了後に校友倶楽部で懇親会も予定されています。皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい。

芝浦工業大学校友会 会長 鈴木 健夫
副会長・総務広報委員長 林田 和雄

□テーマ 凄ワザ、究極の真球の加工の研究

柴田 順二(しばた じゅんじ)

芝浦工業大学名誉教授 工学博士
昭和40年工学部機械工学第二学科卒業

- 日時:2016年1月28日(木) 18:30~20:00 (講演60分、質疑30分)
- 場所:芝浦工業大学芝浦キャンパス内 3階 301教室
〒108-0023 東京都港区芝浦3-9-14
【アクセス】 JR山手線・京浜東北線田町駅芝浦口から徒歩3分
都営地下鉄三田線三田駅から徒歩5分
(http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_shibaura.html)
- 参加費:無料 (但し、懇親会参加者:2,000円、講座終了後、懇親会を開きます)
- 定員:50名
- 申込方法:FAX(03-5445-9635)
またはEメール(sitfriends@shibaura-koyu.jp)にて、氏名、所属、住所、電話番号、Eメール、卒業学科・年次および懇親会参加・不参加を明記して、お申し込み下さい。
- 主催 :芝浦工業大学校友会

●日時：2016年1月28日(木)18：30～20：00

●場所：芝浦工業大学 芝浦キャンパス内教室（東京都港区芝浦）3階 301号

●講演概要

「人工物と天然物では創造のパラダイムが全く異なることから、一般的には互いの形体に共通性を見出せない。しかし、唯一例外が球体である。球体だけは定形体でありながら自然界に存在する稀有な存在なのである（引用：砥粒加工学会誌の技術エッセイ『球体のはなし』）」。

工作機械は直線運動と回転運動による工具軌跡を加工物に強制転写して加工しているが、球面加工では交軸する2つの回転運動の組み合わせで行わなければならない。しかし、それを一般の工作機械を適用することは簡単ではない。従って、完全球体を加工しようとする、自然摂理（アナログ）による造形原理を学び直す必要がある。講演では、真球を人工的に仕上げる技術（アナログ技術をデジタル技術に転換）の開発経緯の説明をするとともに、モノづくりの基礎を改めて受講者とともに考えたい。

【芝浦工業大学 芝浦キャンパスの地図】



【講師略歴】

柴田 順二（しばた じゅんじ）氏

1965年芝浦工業大学工学部機械工学第二学科、
1969年慶應義塾大学工学研究科機械工学専攻、
1974年慶應義塾大学工学研究科博士課程修了（工学博士）

1988年芝浦工業大学教授。

2003年同大学専門職大学院教授。

2008年芝浦工業大学名誉教授。

その間、慶應義塾大学・東京都立大学非常勤講師、
東京大学生産技術研究所顧問研究員。

<アクセス>

JR山手線・京浜東北線「田町駅」芝浦口から徒歩3分
都営地下鉄・三田線・浅草線「三田駅」から徒歩5分

<申し込み> 下記項目に記入の上、FAXまたはeメール（sitfriends@shibaura-koyu.jp）でお申し込み下さい。

●氏名： _____ ●所属： _____

●住所： _____

●卒業学科： _____ ●卒業年次： _____

●電話番号：(____) _____ - _____ ●eメール： _____

●懇親会：[参加、不参加](該当するところに○を付けてください) 講座終了後、1時間程度の懇親会を開きます。

芝浦工業大学校友会事務局 〒108-0023 東京都港区芝浦3-9-14

TEL:03-5445-9634 FAX:03-5445-9635

お申込

FAX:(03)5445-9635